

## 電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(22)(HP 収載) —スピーカー接続ライン—

### 1. 始めに

前方(22)に引き続き、旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T のスピーカー接続ラインへの適用を検討します。

### 2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

前報(21)までの種々のケーブルへの NRF-005T の適用を行ってきました。今回は、300B シングルアンプから FAL C90EXW へのスピーカー接続ラインへの適用を検討することにしました。

上記スピーカー接続の主な使用の状況は次のとおりです。

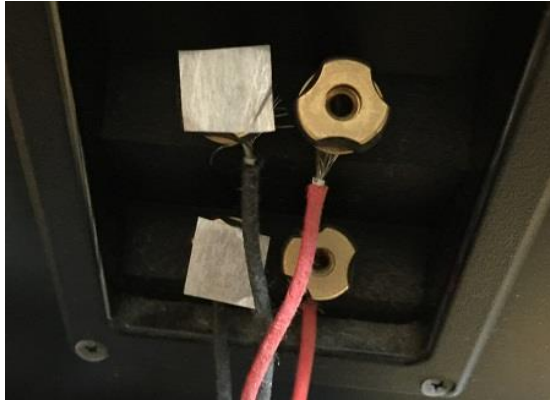
300B シングルアンプから Western の単線のスピーカーケーブルを引き出し、ムジカライザー ML-206 を仲介させ、ここで長尺のスピーカーリベラメンテ 2 本に分け、バイワイアリングとして、FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバーに送り出します。スピーカーリベラメンテ 2 本の中央部にはケーブルチューナーを加えており、ムジカライザー ML-206 のマイナス側には自作の仮想アースを繋いでいます。

今回、スピーカー接続のどこにどのように NRF-005T の適用を行うかは、いろいろ考えられますが、一応次のようにしてみます。

まず、300B シングルアンプから引き出した単線のスピーカーケーブルに NRF-005T を巻きます。次に、仮想アース的な使用として FAL C90EXW の平面ユニットとハイルドライバーの入力端子のマイナス側のみに NRF-005T を貼り付けます。



NRF-005T 処理スピーカーケーブル



#### NRF-005T 処理 FAL C90EXW スピーカー入力端子

以上の効果の評価は、LINN LP-12 によるアナログ再生、PC による STAGE+ の再生、DMR-UBZ1 による BPODCH の再生で行います。

なお、スピーカーケーブルへの NRF-005T の適用については、NRF-005T の発売元のオヤイデから、ACROSS 3000 SGB/SGY が発売されています。

<https://www.phileweb.com/news/audio/202301/27/24036.html>

### 3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

最初に上記の NRF-005T の処理なしの状態では聴いておき、ついで上記の NRF-005T の処理の効果を確認します。

LP-12 によるアナログ再生では、下記を試聴しました。

**Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929**

**J.S.Bach Sonatas & Partitas**

**Nathan Milstein (Vn)**

**ドイツグラモフォン MG9551**

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

**LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)**

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

アナログ再生系には、すでに仮想アースと電源ケーブルやフォノケーブルに NRF-005T の処理を行っているので十分なクオリティに達しています。

さらに上記のスピーカー接続経路に NRF-005T の処理を行いますと、バッハの無伴奏ソナタとパルティータでは、顕著ではありませんが、ヴァイオリンの胴鳴りが豊かになります。

選帝侯のソナタでは、NRF-005T の処理を行いますと、顕著ではありませんが、ピアノの響きが豊かになり、輝きが増します。

ワルキューレでは、顕著ではありませんが、オーケストラの響きが豊かになり、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の明晰さが増します。

PC 経由の STAGE+ の再生では、マウリチオ・ポリーニのベートーヴェンの後期のピアノソナタのライブ収録とリサ・パテイアシュベリとその仲間によるシューベルトのピアノ 5 重奏「鱒」を試聴しました。

この場合、仮想アースと LAN ケーブルや USB ケーブルに NRF-005T の処理を行っているので十分なクオリティに達しています。

NRF-005T の処理を行いますと、ベートーヴェンの後期のピアノソナタでは、顕著ではありませんが、ポリーニの弾く **Fabbrini** が一段と豊かで輝かしくなります。

「鱒」では、全般に響きが豊かになりますが、特にピアノが前面に出てきますし、コントラバスのピチカートが冴えてきます。

DMR-UBZ1 再生システムでは、下記の BPODCH の再生を行います。

フランツ・リスト ピアノ協奏曲 1 番

エフゲニー・キーシン (ピアノ)

マリス・ヤンソンス指揮ベルリンフィル

この場合、仮想アースと LAN ケーブルやデジタルケーブルに NRF-005T の処理を行っているので十分なクオリティに達しています。

NRF-005T の処理を行いますと、リストのピアノ協奏曲 1 番は、ピアノもオーケストラも、ベルリンフィル大ホールの間接音までもダイナミックになってきます。

以上のような結果になりましたが、このスピーカー接続経路には、インフラノイズの新製品スピーカーアキュライザー SPA-7 を導入する計画ですので、その後に改めて NRF-005T の処理の検討を行うこととします。

#### 4. まとめ

さほど顕著ではありませんが、FAL C90ECW の上記 2 ケ所のスピーカーケーブル接続ラインへの NRF-005T の処理の効果を認めました。

以上